

何が人間を輝かせるのだろうか？

何が人間の光なのだろうか？

写真による思考と試行

池本喜巳が『じゆう』を撮った

2

じゆう劇場写真展

BIRD
THEATRE
COMPANY
TOTTORI

障がいのある人となない人がいっしょに
真剣で必死な演劇創作を行うのが、じゆう劇場。
活動の意義を広く社会に知ってもらい、
差別のない社会を作ることが目標です。
本展は、昨年度実施した写真家池本喜巳氏との
コラボレーションの第二弾。

会期 2023年10月31日(火) - 26日(日) 入場無料

場所  ギャラリー 鳥たちのいえ
Birds' Gallery Tottori

鳥取市本町1丁目201 ミュトスビル

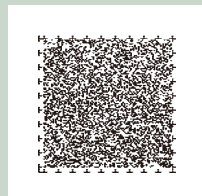
※駐車場はありません。

時間: 11:00 ~ 17:00

休廊日: 会期中、休廊日なし

電話: 0857-51-0710

じゆう劇場WEBサイト



(音声コード Uni-Voice)

『じゆう』を撮った 池本喜巳が



いけもと よしみ

写真家・池本喜巳

1944年鳥取市生まれ。1967年日本写真専門学校卒業(現日本写真映像専門学校、大阪)卒業。1970年鳥取市に池本喜巳写真事務所設立。77年より写真家 故 植田正治の助手を務めながら(~96年)、ライフワークとして鳥取市を中心に、山陰の風景や個人商店、人物などを記録している。また、従来の写真の概念にとらわれず、写真のもつ可能性を追究した現代アートの作品づくりも行い、国内外で発表している。



多様であること 自由であること ここに在ること

山陰で生きる人々とその生活を見つめることを通じて、人間存在の根っこを凝視してきた写真家が、「障がい」と「演劇表現」の関わりに迫ります。じゆう劇場で俳優として活動する人たちが被写体に、池本氏初挑戦の因州和紙を使ったプリントを創作。鳥取に生きる人、鳥取で生まれた紙、鳥取を撮ってきた写真家。この場所から生まれた濃厚にローカルな作品群が、「多様であること」「自由であること」という極めて普遍的で現代においてますます重要さを増す問題について深い思考を促します。

おしゃべり会

11月12日☐・19日☐ 両日13:00-16:00【予約不要】

じゆう劇場の今年度参加者が在廊し活動について紹介します。活動に興味のある方、来年度の参加を考えている方などが対象です。活動に関するさまざまな質問にお答えします。お気軽にご参加ください。

短編作品上演&トークイベント

11月23日☐ 13:00開演【予約不要】

『「赤ずきん」から生まれたもの』の上演とトークイベントを行います。トークでは池本喜巳とじゆう劇場を運営する鳥の劇場芸術監督中島諒人が、今写真展について、和紙による新しい写真表現について、そしてじゆう劇場の活動について語ります。

ファシリテータ：齊藤頼陽(俳優・鳥の劇場副芸術監督)



じゆう劇場

freedom theatre



じゆう劇場WEBサイト▲

鳥の劇場プロデュースにより2013年8月に活動を開始したプロジェクト。障がいのある人、ない人がいっしょに舞台を作り、日常では隠れがちな内面や才能の豊かさを発見し、社会につなぐことを目指す。継続的に作品を作り、鳥取県内外で作品を発表。2017年にはフランス・ナント市で、2018年にはタイ・バンコクでも公演、大好評を博した。2022年は、6月に韓国の韓国芸術総合学校と、9月にはアメリカの劇団TBTBと共同公演を行い成功を収めた。

じゆう劇場まつり

2023年12月9日☐・10日☐

場所：鳥取市民交流センター「麒麟square」
キリンスクエア

鳥取市中心部で2日間開催。短編作品の連続上演やワークショップを通じて、じゆう劇場の存在を広く社会にアピールします。応援してください。

お問合せ

特定非営利活動法人鳥の劇場

電話・ファックス 0857-84-3268

電子メール info@birdtheatre.org

ウェブサイト www.birdtheatre.org

